

## 第 9 母子保健

### 1 妊娠の届出状況（妊娠週数別）

令和元年度

妊娠届出者数	妊 娠 週 数					分娩後	不詳
	満11週以内	満12～19週	満20～27週	満28週～ 分娩まで			
	257	9	-	2	-	-	

### 2 妊婦一般健康診査実施状況

令和元年度

受診券（別冊） 交付数	受診実人員*	受診延人員*	指導区分結果別延人員			
			異常なし	要指導	要精査	未記入
284	402	3,020	2,942	22	-	56

### 3 保健指導実施状況

令和元年度

	妊婦		産婦		乳児		幼児		電話 相談 延人員				
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員					
	(再掲) 健診 の事後指導		(再掲) 健診 の事後指導		(再掲) 健診 の事後指導		(再掲) 健診 の事後指導						
高島市	286	-	298	3	-	3	175	35	186	254	220	279	37

### 4 健康教育（集団指導）実施状況

令和元年度

	思春期・未婚女性学級		婚前・新婚学級		両（母）親学級		育児学級		その他		計	
	開催回数	参加延人員	開催回数	参加延人員	開催回数	参加延人員	開催回数	参加延人員	開催回数	参加延人員	開催回数	参加延人員
高島市	0	0	0	0	11	6	90	1,259	21	638	122	1,953

### 5 乳幼児健康診査実施状況

令和元年度

	乳 児				幼 児					
	3・4か月		9・10か月		1歳6か月児健診		2歳6か月児健診		3歳児健康診査	
	対象人員	受診実人員	対象人員	受診実人員	対象人員	受診実人員	対象人員	受診実人員	対象人員	受診実人員
高島市	268	260	290	287	218	223	303	284	247	243

※6・7か月は健康相談を実施

## 7 ハイリスク妊産婦・新生児援助事業

令和元年度

### (1) 妊婦

体重増加・貧血・尿糖・高血圧	-
妊娠高血圧症候群	-
切迫流産・早産	-
身体疾患	-
精神疾患	3
若年妊婦	2
高年妊婦	-
知的障害	-
外国籍の妊婦	-
未婚（シングルマザー）	4
家庭環境問題	2
経済的問題	-
その他	-
合計	11

### (2) 産婦

妊娠高血圧症候群後遺症	5
身体疾患	2
若年初妊婦	6
高年初妊婦	-
精神疾患	6
知的障害	1
育児不安大	39
マタニティーブルー	2
外国籍の産婦	-
未婚（シングルマザー）	1
家庭環境問題	7
経済的問題	-
その他	-
合計	69

### (3) 新生児

低出生体重児 2000g以上～2500g未満	12
1500g以上～2000g未満	3
1000g以上～1500g未満	-
1000g未満	1
小計	16
多胎	4
新生児仮死（重症）	-
感染症	3
染色体異常	1
心疾患	1
奇形	-
身体的問題	4
その他	1
合計	30

### 連絡のあったケースへの指導状況（実人数）

令和元年度

	対象者数 (連絡件数)	初回の指導方法（実人員）				事後指導			
		訪問	電話	その他	合計	訪問	電話	健診	その他
妊婦	7	7	-	-	21	1	-	-	1
産婦	69	61	5	-	201	21	3	16	15
新生児	26	25	1	-	78	5	-	9	6
合計	102	99	6	-	300	27	3	25	21

## 8 人工妊娠中絶件数（母体の年齢階級別）

令和元年度

妊娠週数	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳以上	不詳	計
7週以前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8～11週	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12～15週	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
16～19週	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
20・21週	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	3	-	-	1	-	-	-	-	-	4

(母体保護統計 参照)

## 8 母子保健関係事業

市の母子保健活動を支援するため、療育相談指導事業（小児科）を実施するとともに、周産期保健医療支援等を中心に事業を実施しています。さらに、医療機関との連携を図りながら事業が円滑に実施され、効率的・効果的な母子保健管理体制の充実、適切な母子保健サービスの提供に努めました。

### （１）母子保健従事者研修会 保健所主催で実施はなし

市の周産期包括ケアを考える会を活用し、圏域内の周産期医療の関係機関、スタッフで集まりハイリスク妊産婦について事例検討会を実施。

開催日：令和元年12月3日（火） 令和2年1月9日（木）

場所：高島市民病院 健診棟3階 大会議室

内容：事例検討①ハイリスク連絡が無かったハイリスク産婦の事例  
②小児科からハイリスク連絡に悩んだ事例

講師：滋賀県立大学 人間看護学部 古川洋子 准教授

参加者：管内医療機関看護職、管内助産院、高島市保健師、高島保健所保健師等

### （２）周産期保健医療連絡調整会議

開催日：令和2年3月4日（水）

場所：高島市民病院 健診棟 3階小会議室

議題：1）ハイリスク連絡票等の運用方法について  
2）不妊に悩む特定治療支援事業実績について  
3）その他 情報交換

参加者：13名（管内および管外医療機関看護職、高島市保健師、管内助産院助産師、高島保健所保健師等）

### （３）特定不妊治療対策

不妊治療の経済的負担を軽減するため、医療保険が適応されない特定不妊治療（体外受精および顕微授精）に要する費用の一部を助成しています。平成27年4月からは、特定不妊治療の過程で男性の治療として行う「精巣または精巣上体からの精子採取の手術」（精巣内精子生検採取法（TESE）、精巣上体精子吸引法（MESA））を必要とした場合も費用の一部を助成しています。（本庁執行）

令和元年度 申請：44件（実26組の夫婦）